

# クリーンセンター ニュース

## 第 2 号

発行者  
秦野市伊勢原市環境衛生組合  
施設企画課（秦野市曾屋4624番地）  
Tel 0463-82-2500  
Fax 0463-83-5933  
E-mail: info@hadanoshi-iseharashi-kek.or.jp

平成 17 年 10 月 31 日 発行

## ごみ処理方式の検討結果（お知らせ）

ごみ処理技術検討委員会から提言

本組合では、県条例に基づくクリーンセンターの環境アセスメントの実施に向けて、昨年11月に学識経験者など5名の委員による「ごみ処理技術検討委員会」（委員長：横田勇静 岡山県立大学大学院教授、以下「委員会」）を設置し、処理方式の調査検討を進めてきました。去る8月23日に第6回委員会（最終回）が開催され、検討結果が二宮組合長に提言されました。

本号では、委員会の検討経過や結果の概要についてお知らせします。

### 検討結果等の概要

検討対象処理方式の選定 = 4方式を検討対象に =

まず委員会では、現在、国内で実用化されている可燃ごみ処理システムの中から、クリーンセンターの処理システムとして「焼却・溶融システム」を、更にその中から、過去の受注実績等を考慮し、ストーカ式焼却+灰溶融方式、シャフト式ガス化溶融方式、キルン式ガス化溶融方式、流動床式ガス化溶融方式の4方式をクリーンセンターのごみ処理方式の検討対象として選定しました。

### データ収集、評価方式等の検討

次に上記4方式の評価に際して、メーカーへのシステム調査により、稼動実績等に裏付けられたデータを収集し、精査・検証したうえで委員会の検討資料としました。

評価方式は「段階評価」と「点数評価」を併用し、「段階評価」の必須項目をクリアしたもののみ「点数評価」を行うこととしました。

また、「点数評価」では、クリーンセンターの施設整備コンセプト等から7つの大項目（右欄参照）と、更にこれらを細分化した26の評価項目を設定し、これにより詳細な評価を行いました。

### 施設整備コンセプトと評価項目（大項目）

人と環境に優しい安心、安全な施設づくり  
環境保全性、安定性、安全性  
弘法山公園と調和したまちづくり  
周辺環境との調和  
ごみのエネルギーを有効利用できる施設づくり  
エネルギーの有効利用性  
資源循環型社会のシンボルとなる施設づくり  
資源回収性

経済性  
経済性

ゴシック体は施設整備コンセプト（「経済性」を除く。）  
は評価項目（大項目）

### 委員会の提言内容

- 委員会の提言書より抜粋 -

当委員会では、6回にわたり議論を重ね、この中で貴組合における諸条件を考慮した評価項目を設定し、公平・公正な評価を行いました。

その結果、当委員会としては、総合評価が高い「ストーカ式焼却+灰溶融方式」及び「流動床式ガス化溶融方式」の2方式がクリーンセンターのごみ処理方式として望ましいことを提言します。

### 評価の結果

段階評価の結果、4方式すべてが点数評価に進み、点数評価による総得点は、ストーカ式焼却+灰溶融、流動床式ガス化溶融、シャフト式ガス化溶融、キルン式ガス化溶融の順になりました。

また、大項目ごとの評価では、「シャフト式ガス化溶融方式」が「環境保全性」で、また、「キルン式ガス化溶融方式」が「エネルギーの有効利用性」で得点が低い状況にありました。

### 委員会の結論 = 2方式を推奨 =

上記評価結果を踏まえ、クリーンセンターの処理方式としては総得点が高く、大項目ごとにみても特に低い得点が無い「ストーカ式焼却+灰溶融方式」と「流動床式ガス化溶融方式」が望ましいという結論になりました。（委員会の提言は左欄参照）

以上が委員会の検討結果等の概要であります。今後、本組合としては、提言内容を尊重し、この2方式によるクリーンセンターの環境アセスメント手続きを進めてまいります。

委員会要旨録は本組合ホームページで公開しています。 <http://www.hadanoshi-iseharashi-kek.or.jp>

## クリーンセンター地元協議会開催される

昨年4月以来、休止していました「クリーンセンター地元協議会」(建設地周辺14自治会の役員で構成、座長：秦野市助役、以下「協議会」)について、本年7月15日に第5回協議会が、同8月29日に第6回協議会が開催されました。

この中で、県条例に基づく環境アセスメント手続きについて、制度の仕組みや全体の流れなどを説明したうえで、今後、手続きの第一歩となる実施計画書作成のための検討作業を進めることについて、協議会としての了解をいただきました。

従いまして、これから地元協議会において、現し尿処理施設廃止後の跡地におけるクリーンセンターの環境アセスメント手続きに向けて、具体的な協議をしていきたいと考えています。

協議会の結果は秦野市のホームページで公開しています。

[http://navi.city.hadano.kanagawa.jp/clean-c/clean-c\\_0701.html](http://navi.city.hadano.kanagawa.jp/clean-c/clean-c_0701.html)

### 環境影響予測評価(環境アセスメント)とは

環境影響予測評価(環境アセスメント)は、大規模な開発事業を行う場合に、それが周辺環境にどのような影響を及ぼすかを事前に調査、予測、評価し、その結果を地域の皆さんにお知らせして意見を出し合いながら大事な環境を守っていく制度であり、住民の皆さんに“安心”を確認していただくものです。

### 実施計画書とは

環境アセスメントの手続きを進めていく上での調査計画、環境配慮の内容などを記載したもので、後に提出する「予測評価書案」作成のための調査等の基礎となるものです。

どのような評価項目について、どのような方法で調査・予測を行おうとするかを計画し、事業の内容などを併せてまとめます。

## クリーンセンターQ&A



**Q**：クリーンセンターの今後のスケジュールはどのようになっているのですか？

**A**：クリーンセンターの建設着手までに実施しなければならない環境影響予測評価(環境アセスメント)の手続きに約3年、施設建設などに約3年を要しますので、稼働時期は早くとも6年後の平成23年度末頃になると考えています。伊勢原清掃工場180t焼却施設は、その時点で稼働から35年を経過しますので、できるだけ早期にクリーンセンターのアセス手続きに着手したいと考えています。現時点で本組合が考える主なスケジュールは次のとおりです。

平成18年度	}	環境影響予測評価の実施、施設基本設計、秦野衛生センター解体など
平成20年度		
平成21年度	}	入札、実施設計、クリーンセンター建設工事など、稼働
平成23年度		

このニュースは、クリーンセンター建設用地周辺の14自治会(台町、仲宿、入船、山谷、池の島、蔵ノ前、御門、県営秦野団地、河原町、中野、オケ分、上大槻第1、上大槻第2、中里)の皆さんにお届けするとともに秦野市内及び伊勢原市内の公共施設でも配布用として置いています。

ご意見、ご質問等は下記へお寄せください。



秦野市伊勢原市環境衛生組合 施設計画課 電話:82-2500 FAX:83-5933

E-mail: info@hadanoshi-iseharashi-kek.or.jp